

魅せる！
現場

現場を支える人々編

天ヶ瀬ダム再開発事業
景観関係資料作成業務

未来に引き継ぐ 国土景観を トータルに デザインする

竣工後50年を迎えた天ヶ瀬ダム。水と緑豊かな自然景観と調和する美しく優美な姿は、京都・宇治に欠かせない景観資源です。現在、このダムの直近地下で、更なる安全・発電などを目的に放水路トンネルを建設中です。

当社はこの再開発事業において、トンネルの流入部、吐口部、ゲート室部の建屋施設を中心に、工事に伴う道路構造物や植栽、看板に至る付属物など、道路施設全般の景観・デザインを担当しています。併せて、景観評価に資する資料を作成しています。

更に50年・100年後の未来を見据え、多くの設計・施工関係者と調整・監理を繰り返し、また景観委員会や有識者のアドバイスを頂きながら、時間も範囲も判断も、広くトータルにデザインを進めています。

過去に学び、現代の先端技術を駆使して皆で考え・造る構造物が、100年後も豊かな自然の中で端正にたたずむ。美しい国土景観を未来に引き継ぐことが、我々の使命です。



景観デザインは、 現場を感じることから。

景観デザインとは、見た目を整えること
だけではない。現場の空気や光、訪れる
人の表情や行動…それらを肌で感じ、
その場所の将来にふさわしいものに思
いを巡らす。



アイデア出し・視覚化・ 議論… を繰り返す。

現場で巡らせた思いをもとに、いくつも
のデザインアイデアを出す。それらをス
ケッチ・模型・コンピュータグラフィック
スなど目に見える形として表現し、議論
を繰り返してより良いものにしてゆく。



美しいデザインは、 技術力があってこそ。

巨大な土木構造物においては、見栄えだ
けを考えているだけでは良いものはできない。
見た人に機能が伝わるような、質実剛健
の美を持つ形にまとめるために、自らの
持てる技術力を発揮する。



魅せる！ 現場

現場を支える人々編

デザインの 現場を支える 仲間たち

 **大日本コンサルタント株式会社**
NIPPON ENGINEERING CONSULTANTS CO., LTD.



たかやま ひろき
高楊 裕幸
管理技術者

構造物や公園の設計を経験した景観デザインの専門家を中心に、河川や道路の技術者と連携して業務に取り組んでいます。建築ではポピュラーな「設計・施工のデザイン監理」が実践される、土木では貴重で先駆的な現場です。統一感ある土木景観を目指します。



いけだ ひろき
池田 大樹
構造物主担当

学生時代に天ヶ瀬ダムを訪れた時の、その雄大な姿と周囲の緑が印象に残っています。建屋のデザインアイデアを見出すまでは試行錯誤の連続でしたが、なかなか良い形に落ち着いたと思います。最後までこのデザインが継続するように尽力します。



あきやま たかひさ
秋山 貴久
植栽主担当

特有でスケール感のある構造物群を、地形の中いかに違和感なく収め、持続性のある環境を確保できるか日々考えています。ダム事業であるものの天ヶ瀬地区は、人と地域との距離感が近いのが特徴であり、今後も大切にしたいポイントと考えています。



よねだ のりひこ
米田 徳彦
模型デザイン担当

本業務で検討する全ての模型を作成しています。模型作成には、様々な情報収集が不可欠なので、大きなことから小さなことまで、殆どのことは頭に入っています。模型によるデザイン作業を通して良いものを創り、後世に残せたらと思っています。



まつざき たかし
松崎 喬
植栽・空間デザイン指導

観光街のこれ程近い所にダムがあるのは珍しい。ダムは自然の懐に納まっていて、街と自然の対照が凄いです。その対比を活かすには、天ヶ瀬の自然をよく見て、それに倣って、ダムの周辺空間に自然を回復させなければならない。



かじはら こういち
梶原 興一
営業主担当

本業務で、天ヶ瀬ダムを始め宇治の魅力を学びました。今後はより魅力を高めた「天ヶ瀬ダム」を多くの方に伝えていきたいです。



もちだ じろう
持田 治郎
道路デザイン担当

宇治の渓谷に悠然と構える力強い姿が、自然と人を惹き寄せるダム施設を、多くの人に存分に味わってもらえるような「場」を考えていきます。



くろしま なおいち
黒島 直一
広報主担当

水害から地域を守る雄姿が、宇治市の中心部から徒歩圏内にある希有なダム。地域の方々に親しまれる空間形成に努めます。



くぼ ひろし
久保 宏
道路担当

天ヶ瀬ダム周辺のデザインを具体化するために、周辺環境や維持管理に配慮した道路構造物の設計を心がけています。



よしだ こうじ
吉田 孝司
河川担当

近年、土木の景観デザインへの気運が高まる中、土木構造物本来の基本性能と風景とのバランスを大切にしたいデザインを探索しています。



はぎお あいこ
萩尾 愛子
広報担当

『今在る天ヶ瀬』の魅力と共に「これからの天ヶ瀬」を考える。多くの方々的心に残る素敵なお場所に貢献していきたいです。



やました ひろし
山下 寛
照査担当

多種多様な工事に関係する業務において、その理解と照査に時間が掛かります。誠実に業務に取り組み、確実な成果の提供を行います。



きむら よしかず
木村 是一
技術指導

平等院の近くで日本最大級の水路トンネル工事が行われていることに感銘します。周辺景観の保全と調和の重要性を感じつつ業務に携わっています。



しらいし のりこ
白石 典子
資料デザイン担当

模型を見ても、CGを見ても、なにに係わっても、より良い環境となるようにと、いつも社内で意見交換しています。完成がとても楽しみです。

トータル デザインを 実現する ために



模型と図面による有識者との協議

設計者・施工者へ デザインを伝達する

デザインのねらいや意図を、他の設計者や施工者へきちんと伝え、関係者ひとりひとりに同じイメージを持ってもらう。それが良い景観の実現につながる。



設計者・施工者との景観情報共有会議



VRCGを用いてイメージを確認

委員や有識者と デザインを議論する

デザインは独りよがりであってはならない。多くの人の目に触れるものだからこそ、景観委員会や有識者との様々な議論を積み重ね、デザインを深めてゆく。



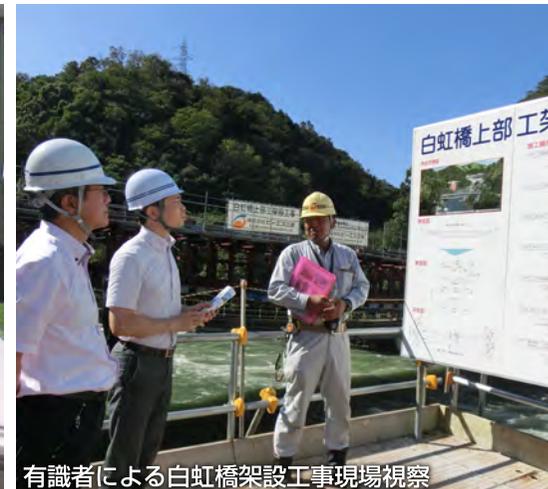
天ヶ瀬森林公園より流入部工事現場を確認

施工現場と 連携する

自然が相手の施工現場では、想定していなかったことも起こり得る。しかしそんな時でも、施工者と連携が取れていればすぐに対応・修正ができる。



景観検討委員会での審議



有識者による白虹橋架設工事現場視察



景観検討委員会による現場視察

次回は減勢池部建設工事を担当する大林・飛島JVです。楽しみに!